

論理国語	単位数	4 単位	学科・学年・学級	
------	-----	------	----------	--

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 使用教科書など

使用教科書	東京書籍「新編論理国語」(論国 701)
副教材など	「新編論理国語 学習課題ノート」(準拠ノート) / 「新総合図説国語」 / 「ジャンプアップ高校漢字問題集 改訂版」 / 「常用漢字の基本演習 改訂版」 / その他、D マークコンテンツ(教科書)、指導用 DVD-ROM 収録の補助資料など

3 評価の3観点と学習指導要領との対応

平成 30 年告示の学習指導要領では、評価の観点が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つとなった。

学習指導要領との対応は以下のとおりである。

- ・「知識・技能」：学習指導要領の〔知識及び技能〕について指導したことを評価する。
- ・「思考・判断・表現」：学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕について指導したことを評価する。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」：学習指導要領に直接該当する項目はないが、次の2つの側面を評価することが求められている。
 - ①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面。
 - ②①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面。

4 「年間指導計画例」の見方

本資料の各項目の概要は、以下のとおりです。

《薄いグレーの見出し》

- ・学期と各編の単元番号と名称，配当月を示した。

《領域・教材名・ページ数・配当時数》

- ・領域（書く／読む），教材名，ページ数，配当時数を示した。

《学習指導要領との対応》

- ・学習指導要領の指導事項や言語活動例との対応を示した。

記号の意味

[知技] …… 「知識及び技能」の指導事項

[思判表] …… 「思考力，判断力，表現力等」の指導事項

活 …… 「思考力，判断力，表現力等」の言語活動例

《学習目標》

- ・附録「この教科書で学ぶこと」に掲載の学習目標を示した。

《学習活動例》

- ・配当時数の中で考えられる学習活動の例を示した。

記号の説明

* …… 指導上の留意点や別案

D …… D マークコンテンツの活用

《評価規準例》

- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点による評価規準例を示した。
- ・「知識・技能」の評価規準例は，各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔知識及び技能〕の指導事項の文言をそのまま用いて，文末を「～している。」とした。
- ・「思考・判断・表現」の評価規準例は，各教材で育成を目指す資質・能力に該当する学習指導要領の〔思考力，判断力，表現力等〕の指導事項の文言をそのまま用いて，冒頭を「（領域名）において，」として領域を明示し，更に文末を「～している。」とした。
- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価規準例は，扱っている全ての指導事項について設定した。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」は，次の4つの内容を全て含め，各教材の目標や学習内容等に応じて，その組み合わせを工夫しながら設定している。また，文末

は「～しようとしている。」とした。

- ①粘り強さ〈積極的に、進んで、粘り強く等〉
- ②自らの学習の調整〈学習の見通しをもって、学習課題に沿って、今までの学習を生かして等〉
- ③他の2観点において重点とする内容（特に、粘り強さを発揮してほしい内容）
- ④当該単元の具体的な言語活動（自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動）

記号の意味

[知技] …… 「知識・技能」の評価規準例

[思判表] … 「思考・判断・表現」の評価規準例

[主] …… 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準例

◆年間指導計画例

領域・教材名 ページ数・配当時数	学習指導要領と の対応	学習目標	学習活動例 (*は指導上の留意点など)	評価規準例
■ 1 学期				
I 部 1 広がる風景 (4 月)				
読む 対話とは何か P 8 2 時間	[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読む こと(1)ア, エ ㊦ 読むこと(2) イ	・対話についての筆者の考えを捉え, 日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。	<第 1 時> 1 「対話」と「おしゃべり」の違いに注意しながら, 本文を通読する。(手引き 1) 2 本文で使われている接続表現を挙げ, その中から「逆説」「根拠」の接続表現に当たるものを指摘する。(論理の力) 3 「他者不在の言語活動」とはどのようなことかを読み取り, まとめる。(手引き 2) 4 「対話」と「おしゃべり」の違いを本文の論旨をもとにまとめ, 「対話成立のポイント」が何かを理解する。 <第 2 時> 1 「他者存在としての相手の領域に大きく踏み込む行為」とは, どのような行為かを読み取り, まとめる。(手引き 3) 2 筆者は「対話」の意義をどのように捉えているか, 本文の論旨をもとに読み取り, まとめる。(手引き 4) 3 「対話」と「おしゃべり」の違いを理解したうえで, ふだんの生活の中でどんなときに「おしゃべり」をし, どんなときに「対話」をしているかを振り返り, 話し合う。(言語活動)	[知技] ・言葉には, 言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などを的確に捉え, 論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において, 文章の構成や論理の展開, 表現の仕方について, 書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 [主] 積極的に筆者が述べる「おしゃべり」と「対話」の違いを捉え, 学習課題に沿って自分の生活におけるコミュニケーションの在り方を振り返ってまとめ, 話し合おうとしている。
読む 世界をつくり替えるために P 15	[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読む こと(1)ア, ウ	・学ぶことの意味について, 筆者の主張を読み取り, 自分に引き寄せて考える。	<第 1 時> 1 四つの意味段落で述べられている筆者の考えを押さえながら, 本文を通読する。(手引き 1) 2 筆者の考えを理解するうえでよく分からなかった部	[知技] ・言葉には, 言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするため

<p>■論理の力を鍛えよう</p> <p>P 23 2 時間</p>	<p>㊦ 読むこと(2) ウ</p> <p>[知技] (2)ア [思判表] 読むこと(1)エ</p>	<p>・書かれている内容を理解し、論理的に考えることの意義を知る。</p>	<p>分について、質問を考えまとめる。(論理の力)</p> <p>3 「論理的」とはどのようなことか、文章の論理的構造を捉えるために必要なことは何かを理解する。(論理の力を鍛えよう)</p> <p>4 比喩表現の意味を理解し、論の起点となる内容を読み取る。(手引き 2)</p> <p>5 筆者の主張する「学ぶことの段階」について、具体的に読み取り、まとめる。(手引き 3)</p> <p><第 2 時></p> <p>1 学ぶことの第一歩である「好き嫌いの感覚から距離を置くこと」の意味について読み取り、まとめる。(手引き 4)</p> <p>2 「学ぶためのもう一つのポイント」である「思考の基本」について、読み取り、まとめる。(手引き 5)</p> <p>3 自分の中にある、学ぶことに関する「種」について、話し合う。(言語活動)</p>	<p>に必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 <p>[主] 粘り強く筆者の考える学ぶことの根拠や意味について理解し、学習課題に沿って自分自身との関連について考えをまとめ、話し合おうとしている。</p>
<p>読む</p> <p>【論理の力】 論理とは何か</p> <p>P 146 1 時間</p>	<p>[知技] (2)ア, イ, ウ [思判表] 読むこと(1)ウ, エ</p>	<p>・書かれている内容を理解し、「論理的」とはどのようなことを学ぶ。</p>	<p><第 1 時></p> <p>1 狭い意味での論理について、【例 1】から「演繹」という推論の仕方を理解する。</p> <p>2 広い意味での論理について、【問 1】の文章から考え、「論理的」であることの意味を解説とともに確認する。</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多

				面的・多角的な視点から評価している。 [主] 進んで演繹的な推論について理解し、学習課題に沿って広い意味での「論理」における言葉の関連性や文章構造について捉えようとしている。
I 部 2 考える手がかり (4～7月)				
読む 少女たちの「ひろしま」 P26 2時間	[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読む こと(1)イ, エ, カ	・戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養う。	<第1時> 1 三つに分かれたそれぞれの部分の話題に注意しながら、本文を通読する。(手引き1) 2 筆者の認識の変化が最もよく示されている部分を捉え、指摘する。(論理の力) 3 筆者が美しいと感じた石内都の写真集の特徴と、「洋服たち」に対する視点を捉える。(手引き2・3) <第2時> 1 被爆死した女性たちと筆者をつなぐ「回路」の意味を捉える。(手引き4・5)	[知技] ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 [主] 粘り強く筆者独自の「視点」を理解し、今までの学習を生かして戦時下の人々の日常と自分との接点について、考えを深めようとしている。
読む 【論理の力】 要約する力 P158	[知技] (2)ア, イ [思判表] 読む こと(1)ア, エ	・「幹」「枝葉」「根」という文章の構造を理解し、適切に要約する力を養う。	<第1時> 1 文章の「幹」(中心的主張)と、「枝葉」(読ませる工夫・分かりやすくする工夫・根拠を示す「太い枝」という構造を理解する。	[知技] ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理

2時間			<p>2文章を「根」(問い)と答えの構造を持つものと捉えることを理解し、【問7】の要約作業を通して、文章構造への理解を深める。</p> <p><第2時></p> <p>1「要約するための五つのステップ」を読み、要約する手順とポイントを理解する。</p>	<p>する方法について理解を深め使っている。</p> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 <p>[主] 進んで論理的な文章の構造を理解し、学習課題に沿って中心的主張を捉えた要約の方法を理解しようとしている。</p>
<p>読む 「ふしぎ」ということ P37</p> <p>言葉の扉① ……慣用句の意味 P44 2時間</p>	<p>[知技] (1)ア、イ、ウ [思判表] 読むこと(1)ア、カ</p> <p>[知技] (1)イ [思判表] 読むこと(1)ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挙げられている話題を関連づけて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深める。 ・ 慣用句の意味について理解する。 	<p><第1時></p> <p>1本文を通読し、子供の頃「ふしぎ」に思ったことを発表する。(手引き1)</p> <p>2具体例を挙げて説明している部分を指摘する。(論理の力)</p> <p>3本文の三つの部分で取り上げている事柄や問題についてまとめる。(手引き2)</p> <p>4「あたりまえ」と感じていることを「ふしぎ」と受け止めることの意義について理解する。(手引き2-1)</p> <p><第2時></p> <p>1子供の説明が「物語」に直結しているということについて理解する。(手引き3)</p> <p>2「自然科学」の方法と「物語」の違いについて理解する。(手引き4)</p> <p>3本文の要旨をまとめる。(手引き5)</p> <p>4「慣用句の意味」を通読し、慣用句の意味について確認する。ふだん使っている慣用句を挙げて振り返ってみてもよい。(言葉の扉①……慣用句の意味)</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 <p>[主] 積極的に具体例を通して筆者が述べようとしている考えを読み取り、学習課題に沿って筆者の考える「物語」の捉え方を理解しようとしている。</p>
読む	[知技] (1)ウ／	・「接続関係」につい	<第1時>	[知技]

<p>【論理の力】 つなげる力</p> <p>P 148 2 時間</p>	<p>(2)ア 【思判表】読む こと(1)ア, エ</p>	<p>て学び, 文章を論理的に理解する力を養う。</p>	<p>1 論理的な文章において, 接続表現を用いることの重要性を, 【問 2】の文章から考える。</p> <p>2 「逆接」の接続関係と接続表現について, 【例 2】【例 3】の文章から理解を深める。</p> <p>3 逆接の接続関係の捉え方を, 【問 3】の文章から考え, 解説とともに確認する。</p> <p><第 2 時></p> <p>1 「例示」の接続関係と接続表現「例えば」を, 【例 4】の文章から確認し, 【問 4】の文章から, 例示の接続関係について理解を深める。</p> <p>2 「根拠」の接続関係では, 結論の示し方によって用いる接続表現が異なることを【例 5】と【例 6】の文章から理解し, 根拠の接続関係の捉え方について, 【問 5】とその解説から理解を深める。</p>	<p>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>【思判表】</p> <p>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などを的確に捉え, 論点を明確にしながら要旨を把握している。</p> <p>・「読むこと」において, 文章の構成や論理の展開, 表現の仕方について, 書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。</p> <p>【主】粘り強く論理的な文章の接続関係と接続表現の理解を深め, 今までの学習を生かして接続関係を捉えようとしている。</p>
<p>書く 資料を整理し, テーマを吟味しよう</p> <p>P 46 11 時間</p>	<p>【知技】(2)ア, イ 【思判表】書く こと(1)ア, イ, エ ④書くこと(2)ア</p>	<p>・資料を集めてさまざまな観点から整理し, テーマを吟味する。</p>	<p><第 1～3 時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み, 活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「課題」(P54)の中から一つを選ぶ。②を選んだときには, 新聞・テレビのニュースなどから, 興味・関心のある社会的な問題を書き出し, 仮テーマを決める。 *仮テーマを決める際は, 身近で具体的な問い(課題)を作って, テーマが大きすぎないように内容を絞ったり, 一義的ではなく立場による解釈の多様性があるものを選んだりするよう留意する。</p> <p>3 「活動のポイント」1を参考に資料収集の方法と資料の信頼性を見極めるの大切さを理解し, 仮テーマに沿って, 図書館のデータベースやインターネットなどを活用して資料を探す。 *資料を探す際は, やみくもに大量の資料を収集することのないよう, 問い(課題)や目的と照らし合わせて,</p>	<p>【知技】</p> <p>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。</p> <p>【思判表】</p> <p>・「書くこと」において, 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について, 書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集, 整理して, 目的や意図に応じた適切な題材を決めている。</p> <p>・「書くこと」において, 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら, 自分の立場や論点を明確にして, 主張を支える適切な根拠をそろえている。</p> <p>・「書くこと」において, 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり, 根拠や論拠の吟味を重ねたりして, 主張を明確にしている。</p>

			<p>あらかじめどのような資料が必要かの目安を立てるとよい。</p> <p><第4～6時></p> <p>1 「活動のポイント」2・3にある「成年年齢引き下げ」の場合から、資料を整理する観点と、表にまとめる意義を理解する。</p> <p>2 「情報整理のポイント」の五つの観点に沿って、集めた資料を整理する。「書き手の立場」「内容」「文章の形式等」「発表された時期」「対象とする読者」の項目別に、表（P52）にまとめ、各資料の特徴を確認する。資料に偏りや不足がある場合は、随時資料収集の機会を設ける。</p> <p><第7～9時></p> <p>1 「活動のポイント」4より、各資料の論点を比較するポイントを捉え、自分の立場や意見、問題意識の明確化との関連性を理解する。</p> <p>2 「論点整理表」の四つの観点に沿って、資料を整理する。「背景と意義」「主張と根拠」「他資料との関係」「自身の意見」の項目別に、表にまとめる。</p> <p>3 論点を整理したことで見えてきた、テーマについての自分の立場や意見、問題意識をまとめる。</p> <p><第10・11時></p> <p>1 「活動のポイント」5より、テーマを検討する観点を理解し、テーマ設定と資料の収集・整理との関係をP47の図をもとに理解する。</p> <p>2 五つの観点（P54）からテーマの検討を行う。各自が書きあげた表を、四～六人のグループ内で確認し合い、互いに疑問点の指摘や助言を行う。その結果からテーマの変更や修正を行って、適切なテーマの設定をする。</p> <p>3 資料の表を作成する過程で生じた困難や浮かんだ疑</p>	<p>[主] 積極的にレポートを書くための資料の収集・整理の方法を理解し、学習の見直しをもって収集した資料の論点を整理してテーマを見直し、適切なテーマを設定しようとしている。</p>
--	--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

			<p>問、気づいたことなどをグループで話し合う。</p> <p>4 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、確認する。</p> <p>*Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	
--	--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

■ 2学期

I部 3 人間と知性(9月)

<p>読む 学ぶことと人間の知恵 P56 2時間</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読むこと(1)ア, オ, キ ㊦ 読むこと(2) エ</p>	<p>・文のつながりに着目して主張を読み取り, 人間の思考や学ぶことの意義について理解を深める。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「コンピューター」と「人間」の違いに注意しながら, 本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 本文の中心的な「問い」を端的に表現している一文と, その問いを詳しく表現し直している一文をそれぞれ指摘する。(論理の力)</p> <p>3 「忘却」という人間特有の能力の長所と短所を読み取り, 確認する。</p> <p>4 勉強しても忘れてしまうにもかかわらず, 筆者が「学ぶことは, 結果として無駄にはならない」と述べる理由を読み取り, まとめる。(手引き2)</p> <p>5 人間の脳のみが持っている「ゆとり」とは, 頭脳のどのような状態のことを言うのかを読み取り, まとめる。(手引き3)</p> <p>6 人間の頭脳にある「寛容性」とはどのようなものであるかを読み取り, まとめる。(手引き4)</p> <p><第2時></p> <p>1 「知恵」の「広さ」「深さ」「強さ」それぞれについて整理し, まとめる。(手引き5)</p> <p>2 学ぶことの意義における筆者の主張のまとめを読み取る。</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には, 言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などを的確に捉え, 論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において, 関連する文章や資料を基に, 書き手の立場や目的を考えながら, 内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において, 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に, 必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 <p>[主] 積極的に論理の展開を捉えて筆者の考えを理解し, 今までの学習を生かして人間の思考や学ぶことの意義について, コンピューターと比較することによっ</p>
------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

			3 「コンピューター」と「人間」の違いについて、関連する他の文章を読んで話し合う。(言語活動)	て筆者の意図と自分の考えを整理し、話し合おうとしている。
読む ラップトップ抱えた 「石器人」 P66	[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読む こと(1)ア, オ, キ ㊦ 読むこと(2) エ	・ 事実と主張の關係に注意して文章を読み、人間の脳の働きについて考える。	<第1時> 1 タイトルに込められた筆者の思いや、事例と主張に注目しながら、本文を通読する。(手引き1) 2 第一段から、事故の具体例と筆者の主張との關係を整理し、「リスクの認識」について、筆者がどのような考えを述べようとしているかを読み取る。(手引き2) 3 第二段から、「ギャンプラーの誤謬」の例を通して筆者の述べたい内容をつかみ、昔と今日の状況の違いを捉える。(手引き3)	[知技] ・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・ 推論の仕方について理解を深め使っている。
■ 文章を読み比べるために P73 3時間	[知技] (2)ウ [思判表] 読む こと(1)キ ㊦ 読むこと(2) エ	・ 文章の読み比べ方を学び、複数の文章を比較して考えを深める。	<第2時> 1 「ヒューマンエラー」に対する筆者の考えを読み取る。 2 第三段から、脳の進化と文明の発展についての筆者の考えを読み取り、タイトルの意味を理解する。(手引き4) 3 「私たちは、ラップトップを抱えた『石器人』でもある」といえる根拠を、本文からまとめる。(論理の力)	[思判表] ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 ・ 「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・ 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。
			<第3時> 1 「文章を読み比べるために」を通読し、文章を比較する観点を理解する。(文章を読み比べるために) 2 「学ぶことと人間の知恵」(P56)と「ラップトップ抱えた『石器人』」を読み比べ、「人間の脳の特性」について自分はどう受け止めるか、自分の知識や体験なども関連づけながら、考えをまとめる。(言語活動)	[主]積極的に筆者の主張を事実との關係に注意しながら読み取り、今までの学習を生かして人間の思考や脳の働きについて、複数の文章を読み比べながら、考えを深めようとしている。
読む 【論理の力】 論証する力 P154	[知技] (2)ア, ウ [思判表] 読む こと(1)ウ, カ	・ 論証の適切さを判断する方法を学び、説得力のある論証や反論を行う力を	<第1時> 1 「事実」と「考え」の区別、「推測」と「意見」の違いを理解する。 2 「憶測」「独断」と「論証」の違いを捉え、「論証」に	[知技] ・ 主張とその前提や反証など情報と情報との關係について理解を深めている。 ・ 推論の仕方について理解を深め使っている。

2 時間		養う。	<p>において根拠を示す重要性を理解する。</p> <p>3 「根拠の適切さ」と「導出の適切さ」について、【問6】の文章と解説を通して確認し、論証の説得力についての理解を深める。</p> <p><第2時></p> <p>1 論証の説得力を検討し、反論する方法について理解を深める。</p>	<p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 <p>[主] 粘り強く論証の適切さを判断する「根拠の適切さ」と「導出の適切さ」という二つの観点を理解し、今までの学習を生かして説得力のある論証や反論方法について捉えようとしている。</p>
------	--	-----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

I 部 4 現実の中で (10~12 月)

<p>読む 思考の肺活量</p> <p>P 76 2 時間</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読むこと(1)ア, エ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。 	<p><第1時></p> <p>1 論の展開に注意しながら、本文を通読する。(手引き 1)</p> <p>2 本文の主張について、「例示」の役割を持っている段落がどこか、指摘する。(論理の力)</p> <p>3 「思考」のために必要な「肺活量」とはどういうものか理解する。(手引き 2)</p> <p><第2時></p> <p>1 第二段における三つの例示について理解する。(手引き 3)</p> <p>2 「思考の原型」について理解する。(手引き 4)</p> <p>3 筆者が述べる、「思考」において「だいじなこと」を理解する。(手引き 5)</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 <p>[主] 粘り強く比喩によって表現された筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って筆者の述べる「思考」のあるべき姿について理解を深めようとしている。</p>
-------------------------------------------	------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>読む 安心について</p> <p>P 83</p> <p>考える楽しみ① ……言葉にするとき、しないとき</p> <p>P 92 3時間</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読む こと(1)ア, ウ, エ ㊦ 読むこと(2) ア</p> <p>[知技] (1)ア [思判表] 読む こと(1)ア</p>	<p>・文章構成に注意して筆者の考えを理解し,安心というものの本質について考える。</p> <p>・言葉と思考の関係について理解する。</p>	<p><第1時></p> <p>1 シュルツや『ピーナッツ』について知っていることを挙げる。</p> <p>2 各段の話題に注意しながら,本文全体を音読する。(手引き1)</p> <p>3 筆者の考えを理解するうえでよく分からなかった部分について,質問を考える。(論理の力)</p> <p>4 第一段の内容を,漫画を参考にしながら読み取る。(手引き2)</p> <p><第2時></p> <p>1 第二段を音読し,シュルツの半生を箇条書きにまとめる。</p> <p>2 第一段の漫画の内容とシュルツの半生との関わりを理解する。</p> <p>3 子供にとっての「安心」とは何かをまとめる。(手引き3)</p> <p>4 「母の苦しみはだんだんひどくなっていった。かわいそうなお母さん,ボクらは何もしてあげることができない。」には,どのような表現の工夫が見られるか考え,話し合う。(言語活動)</p> <p>5 第三段を音読し,世界の現状を踏まえ,「安心」が,全ての子供に行きわたっているわけではないことを理解する。</p> <p><第3時></p> <p>1 第四段を音読し,老人にとっての「安心」とは何かをまとめる。(手引き3)</p> <p>2 全体を読み直し,これまでの内容を振り返り,「安心」というものを筆者がどのように捉えているか考える。(手引き4)</p> <p>3 「言葉にするとき,しないとき」を通読し,言葉の役割とその限界について述べられていることを読み</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には,言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し,文章の中で使うことを通して,語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において,文章の種類を踏まえて,内容や構成,論理の展開などを的確に捉え,論点を明確にしながら要旨を把握している。</p> <p>・「読むこと」において,主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し,文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。</p> <p>・「読むこと」において,文章の構成や論理の展開,表現の仕方について,書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。</p> <p>[主]積極的に文章の展開を把握して筆者の考えを読み取り,学習課題に沿って筆者が捉えている「安心」の本質について考えを深め,まとめようとしている。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

			取り、言葉を言葉で定義するにはどのようにすればよいか、考えてまとめる。(考える楽しみ①……言葉にするとき、しないとき)	
読む 【論理の力】 質問する力 P 162 2 時間	[知技] (2)ア, ウ [思判表] 読む こと(1)エ, カ	・ 質問の意義や種類を学び、よい質問をする力を養う。	<p><第 1 時></p> <p>1 質問力を鍛える重要性和効能を、「読む力・聞く力」「書く力・話す力」「議論する力」の三つのポイントとのつながりから理解する。</p> <p>2 「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」という三種類の質問を理解し、物事に対する姿勢や心がけとの関連性を捉える。また、【問 8】の発言に対して、観点を変えた質問を考え、その解説から質問の三つの種類についての理解を深める。</p> <p><第 2 時></p> <p>1 質問のよし悪しについて、【問 9】の文章から考え、論理的な文章における鋭い質問とは何かについて理解を深める。</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・ 推論の仕方について理解を深め使っている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・ 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 <p>[主] 粘り強く論理的な思考力と質問する力の関連性を捉え、学習課題に沿って論理的な文章におけるよりよい質問に対する考えを深めようとしている。</p>
書く 仮説を立てて検証しよう P 93 14 時間	[知技] (1)エ / (2)ア, ウ / (3)ア [思判表] 書く こと(1)ア, エ, オ ④ 書くこと(2)イ	・ 仮説を立てて検証し、検証過程を文章にまとめる。	<p><第 1・2 時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 「高校生の読書」について仮説を立てて検証し、検証の過程を文章にまとめた例を参考に、学習の進め方を理解する。</p> <p><第 3～5 時></p> <p>1 「課題」(P100)の中から一つを選び、問題の前提と、そこにどのような傾向が見られるかについて、インターネットを使うなどして現象を把握する。</p> <p>2 同じ課題を選んだ人どうしてグループに分かれ、課題の現象に基づく疑問点を出し合い、その原因や結果に</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・ 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・ 推論の仕方について理解を深め使っている。 ・ 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に

			<p>ついて仮説を立てる。</p> <p><第6～9時></p> <p>1 仮説を検証するための根拠となる情報を、インターネットなどを利用して集める。</p> <p>2 集めた情報を整理・分析し、立てた仮説の妥当性を検証する。</p> <p>3 集めた情報から、更に新たな疑問や課題が生じた場合、必要に応じて追加で調査を行う。</p> <p><第10～12時></p> <p>1 検証の過程を文章にまとめるため、構成を考え、メモを作る。</p> <p>2 構成メモをもとに、報告文にまとめる。</p> <p><第13・14時></p> <p>1 報告文が書けたら読み直し、仮説の検証過程が的確に伝わる文章であるかを確認し、必要があれば推敲する。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、課題について各項目が達成できているかを確認する。</p> <p>* Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	<p>応じた適切な題材を決めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 ・「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 <p>[主] 積極的に仮説を立てて検証する方法を理解し、学習の見通しをもって情報を収集・整理し、分析することによって仮説の妥当性を判断し、検証の過程を文章にまとめようとしている。</p>
--	--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■ 3 学期

I 部 5 ものの見方 (1～2月)

<p>読む 弱肉強食は自然の摂理か</p> <p>P102 4 時間</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)イ, エ</p> <p>(活) 読むこと(2)ウ</p>	<p>・ 筆者の提示している問いや根拠に注意して読み、文章の論理展開を的確に捉える。</p>	<p><第1時></p> <p>1 生き物の「強さ」の意味に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 この文章における筆者の問題提起とそれに対する主張が書かれている部分を把握し、文章の構成を理解する。</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。
------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

			<p>3 「〈弱肉強食論〉には大きな疑問が横たわっていてもいます。」とは、どのようなことか、読み取る。(手引き2)</p> <p>4 「食う者・食われる者の関係は力の強さとは別の話」と筆者が述べる理由を読み取る。</p> <p><第2時></p> <p>1 「統一的な強さの尺度」とは、どのようなことか、読み取る。(手引き3)</p> <p>2 「自然環境では様子が異なります。」について、「逃げ場のないような環境」と、「自然環境」のそれぞれの場合では、ライオンとシマウマの個体数がどのようになるか、読み取って整理する。(手引き4)</p> <p>3 ハフェーカーの実験の目的は何かを読み取る。</p> <p><第3時></p> <p>1 「生態学における強さの概念」とは何かを読み取る。</p> <p>2 「弱い者の肉が強い者の食料となることだけを想定する弱肉強食は、自然の摂理ではない」とあるが、なぜそのようにいえるのか、読み取る。(手引き5)</p> <p>3 この文章の中心的な「問い」と「主張」は何か、まとめる。(論理の力)</p> <p><第4時></p> <p>1 ハフェーカーの実験結果のグラフから、どのようなことが読み取れるか、話し合う。(言語活動)</p>	<p>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。</p> <p>[主] 積極的に筆者の提示する問題や根拠を、学習の見通しをもって捉え、文章の論理展開や提示された資料をもとに筆者の主張を的確に理解し、その内容について話し合おうとしている。</p>
<p>読む 複数の「わたし」 P114</p> <p>ブックガイド① ……学びの窓をひらいて P122</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)ア, ウ</p> <p>[知技] (3)ア</p> <p>[思判表] 読むこと(1)キ</p>	<p>・文章に示された考え方を手がかりに、「わたし」の捉え方について理解を深める。</p> <p>・読書を通じてさまざまな学問の考え方を知り、視野を広</p>	<p><第1時></p> <p>1 タイトルの意味に注意して、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 「私たちは、常に複数の役割を持って生きています。」とは、どのようなことか読み取る。(手引き2)</p> <p>3 「誰でも関係を結ばない『わたし』が、本当の『わたし』といえるのか」という筆者の問いに対して、ここまで読み取ったことを踏まえて自分の考えをまとめ</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について</p>

4 時間		げる。	<p>る。</p> <p><第 2 時></p> <p>1 「近代の個人主義的な人間観」とは、どのようなものか、読み取る。(手引き 3)</p> <p>2 「小説家の平野啓一郎」と「英語の『個人 individual』」の例によって示される「分人」の概念について理解する。</p> <p>3 「ハーゲンの人々の人格」とは、どのようなものか、読み取る。(手引き 4)</p> <p><第 3 時></p> <p>1 「ブタを飼育した女性の労働に目を向けてこなかった」という批判に対して、ストラザーンはどのように反論しているか、「根拠」の接続表現を用いてまとめる。(論理の力)</p> <p>2 「別の『わたし』が「他者によって引き出される」とは、どのようなことか、読み取る。(手引き 5)</p> <p><第 4 時></p> <p>1 「そう捉えると、少し気が楽になりませんか。」とあるが、筆者がそのように言うのはなぜか読み取り、まとめる。(手引き 6)</p> <p>2 さまざまな学びや学問について取り上げた本を読み、学問の多様な視点や考え方について捉える。(ブックガイド①……学びの窓をひらいて)</p>	<p>て理解を深めている。</p> <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 <p>[主] 粘り強く筆者の挙げる考え方や事例が示すことを読み取り、学習課題に沿って筆者の言う「わたし」の捉え方について理解し、「わたし」に対する見方を広げようとしている。</p>
------	--	-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

I 部 6 働くよろこび (2～3月)

<p>読む</p> <p>はじめに「言葉」がある</p> <p>P124</p> <p>4 時間</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)ア, カ</p> <p>[話] 読むこと(2)イ</p>	<p>・ 筆者の仕事の経験を手がかりにして、働くことと言葉の関わりについて考える。</p>	<p><第 1 時></p> <p>1 「ファッション」と「言葉」の関係に注意しながら、本文を通読する。(手引き 1)</p> <p>2 「服というものは『生鮮品』にたとえられる」とは、どのようなことか、読み取る。(手引き 2)</p> <p>3 「本当に『今』をつまみ食いすることだけが、新しい</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。
------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

			<p>ことだろうか。」とあるが、筆者はこの問いに対してどのように考えているのかを読み取る。(手引き3)</p> <p><第2時></p> <p>1 「これらに共通する」(P127・10)「この美意識」(P127・12)について、指示語が指すものを読み取り、筆者が決めた「ある年の秋冬コレクションのテーマ」で何を表現したかったのかを理解する。</p> <p>2 「ふきよせ」という言葉で、筆者はどのようなイメージを表したのか、理解する。(手引き4)</p> <p><第3時></p> <p>1 筆者は「ある年の秋冬コレクションのテーマ」をどのように決定したのか、「根拠」の接続表現を用いてまとめる。(論理の力)</p> <p>2 筆者がコレクションのために言葉を「探していた」のはなぜか、読み取る。</p> <p>3 「その心の向かい方」とは、どのようなことか、読み取る。(手引き5)</p> <p><第4時></p> <p>1 読み取ったことを手がかりに、「働くこと」と「言葉」の関わりについて考えたことを話し合う。(言語活動)</p>	<p>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握している。</p> <p>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。</p> <p>[主] 粘り強く筆者が述べる「ファッション」と「言葉」の関係を捉え、今までの学習を生かして「働くこと」と「言葉」の関わりについて自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。</p>
<p>読む 楽に働くこと、楽しく働くこと P132</p> <p>情景のなかの労働 P138</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読むこと(1)イ, オ ④ 読むこと(2)エ</p> <p>[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読むこと(1)イ, オ</p>	<p>・楽しく働くとはどういうことかについての筆者の考え方を理解する。</p> <p>・文章に取り上げられた事例をもとに、働くことについて理解を深める。</p>	<p><第1時></p> <p>1 本文に述べられている「楽に働くこと」と「楽しく働くこと」の違いに注目しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 本文について、「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」を意識しながら質問を考える。(論理の力)</p> <p><第2時></p> <p>1 「工場のものづくり」がどのようなものかを理解し、近代工場での労働の「楽さ」と「楽しさ」についてまとめる。(手引き2・3・4)</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確に</p>

<p>鉄, 千年のいのち P 141</p> <p>言葉の扉② ……知っておきたいカタカナ語 P 143 6 時間</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読むこと(1)イ, オ</p> <p>[知技] (1)イ [思判表] 読むこと(1)ア</p>	<p>・筆者の考えを捉え, 働くことについて理解を深める。</p> <p>・さまざまなカタカナ語について理解する。</p>	<p>2 内山節と白鷹幸伯の著作について書かれた内容を整理し, 筆者がこの二冊を薦める理由を理解する。(手引き5)</p> <p><第3時> 1 本文を読んで「働くよろこび」について考えたことを話し合う。(言語活動)</p> <p><第4時> 1 対比的に用いられている「働く」と「稼ぐ」という言葉の意味を押さえながら, 本文を通読する。(情景のなかの労働) 2 筆者の言う『仕事』の世界が作りだした景色の美しさ(P140下・3)を理解する。(情景のなかの労働) 3 本文を読んで, 「仕事」についての自分の考えを文章にまとめる。(情景のなかの労働)</p> <p><第5時> 1 楽しく働くとはどういうことなのかについて関心を持ちながら, 本文を通読する。(鉄, 千年のいのち) 2 筆者の言う鍛冶屋の楽しみを理解し, 和釘づくりが「歴史への参加」(P142上・16)だという考え方を理解する。(鉄, 千年のいのち)</p> <p><第6時> 1 働くことのよろこびや「楽しく働く」とはどのようなことかについて, 「楽に働くこと, 楽しく働くこと」「情景のなかの労働」の内容も踏まえて考えたことを話し合う。 2 「知っておきたいカタカナ語」を通読し, よく耳にするカタカナ語の意味を, その言葉が使われるようになった背景とともに理解する。(言葉の扉②……知っておきたいカタカナ語)</p>	<p>しながら要旨を把握している。</p> <p>・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 資料との関係を把握し, 内容や構成を的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において, 関連する文章や資料を基に, 書き手の立場や目的を考えながら, 内容の解釈を深めている。</p> <p>[主] 進んで「楽しく働くこと」について, それぞれの文章の筆者の立場に基づく考えを, 学習課題に沿って理解し, 「働くよろこび」について自分の考えをまとめ, 話し合おうとしている。</p>
-------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

領域・教材名 ページ数・配当時数	学習指導要領と の対応	学習目標	学習活動例 (*は指導上の留意点など)	評価規準例
■ 1 学期				
II部 1 時代をひらく (4月)				
読む 最初のペンギン P 168 3 時間	[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読む こと(1)ア, エ, カ	・タイトルに象徴さ れる筆者の考えを 手がかりにして,自 分の生き方につい て考える。	<第1時> 1 本文を通読し, 初読の印象を挙げる。(手引き1) 2 段落分けを行い, 構成の概要を確認する。 3 「譲歩」を用いて論じている部分を指摘し, その効果 を考える。(論理の力) 4 「神ならぬ」や「有限の立場」などの語句, および「神」 と「人間」の対立図式を確認し, 第一段の内容を整理 する。(手引き2) <第2時> 1 生きるために, 不確実性のもとで決断し, 海の中に真 っ先に飛び込む「最初のペンギン」の行動の意味を確認 し, 第二段の内容を整理する。(手引き3) 2 「感情」「決断」「直観」等の意味を確認しながら第三 段の内容を整理し, 不確実性の中での決断の必要性 と, 感情の技術を磨く必要性を理解する。(手引き4) <第3時> 1 「未来感覚」などの語句を手がかりとして, 創造する ことは未知の世界にジャンプすることだという筆者 の主張を捉え, 第四段および文章全体の内容を整理す る。 2 「不確実な状況下」でどう決断して行動するかという ことについて考える。(手引き5)	[知技] ・言葉には, 言葉そのものを認識したり説明したりする ことを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするため に必要な語句の量を増し, 文章の中で使うことを通し て, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方につい て理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容 や構成, 論理の展開などを的確に捉え, 論点を明確に しながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において, 文章の構成や論理の展開, 表 現の仕方について, 書き手の意図との関係において多 面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において, 人間, 社会, 自然などについ て, 文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と 結び付けて, 新たな観点から自分の考えを深めている。 [主] 積極的にタイトルに象徴される筆者の考えを読み 取り, 今までの学習を生かして自分の経験を振り返 り, これからの生き方について考えようとしている。
読む 豊かさと生物多様性 P 176	[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読む	・論の展開に注意し て読み, 生物多様性 の重要性と課題に	<第1時> 1 三つの意味段落で述べられている筆者の考えを押さ えながら, 本文を通読する。(手引き1)	[知技] ・言葉には, 言葉そのものを認識したり説明したりする ことを可能にする働きがあることを理解している。

<p>考える楽しみ② ……「真の価値」を求めて P184 4時間</p>	<p>こと(1)ア, ウ, キ [知技] (1)ア [思判表] 読む こと(1)ア</p>	<p>ついて理解を深める。 ・現代における真の価値の探究について理解する。</p>	<p>2本文について、「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」を意識しながら質問を考え、まとめる。(論理の力) 3生物多様性を大切にすうえで必要な発想について、具体的に読み取り、まとめる。(手引き2) <第2時> 1多様な生物によって作られている生態系を大切にすうえ方について読み取り、まとめる。(手引き3) 2生物多様性保全の課題として挙げられている「南北問題」の内容を読み取り、まとめる。(手引き4) 3生物多様性についての「質と量」の問題と、それに対する筆者の考えについて読み取り、まとめる。(手引き5) <第3時> 1筆者の考える、生物多様性を大切にするために必要なことをまとめる。 2生物多様性を大切にするために必要なことについて、考えたことを話し合う。(手引き6) <第4時> 1『真の価値』を求めて」を通読し、「豊かさと生物多様性」の筆者が何に価値を見いだしているのか、本文から読み取り、まとめる。(考える楽しみ②……「真の価値」を求めて) 2現代という時代に、何に価値があると思うか、考えたことについてまとめる。</p>	<p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 [思判表] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 [主] 粘り強く叙述に基づいて筆者の主張を的確に捉え、生物多様性の重要性と課題について、学習課題に沿ってまとめ、理解を深めようとしている。</p>
<p>II部 2 新しい視点から (4～7月)</p>				
<p>読む 物語の外から P186 3時間</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読む こと(1)ア, カ</p>	<p>・二人の語り部に共通する姿から、「語る」ということの本質について考えを</p>	<p><第1時> 1二人の「語り」の場面で筆者が感じたことに注意しながら、本文を通読する。(手引き1) 2本文について、「情報の問い」「意味の問い」「論証の</p>	<p>[知技] ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするため</p>

		深める。	<p>問い」に意識した質問を考え、まとめる。(論理の力)</p> <p><第2時></p> <p>1 筆者の考える、語り部の男性が「一言も出せなくなり、ただ狼狽して、黙り込んでしまった」理由を読み取り、まとめる。(手引き2)</p> <p>2 第一段の語り部の男性と、第二段の語り部の女性の行動や様子をまとめ、「語り」について理解する。(手引き3)</p> <p><第3時></p> <p>1 「物語」と「自己」との関係を理解する。(手引き4)</p> <p>2 「自己というものはさまざまな物語の寄せ集めである。」について理解する。(手引き5)</p>	<p>に必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 <p>[主] 積極的に筆者が述べる「自己」と「物語」の関係を捉え、学習課題に沿って「語る」ことの本質について、自分の体験と結び付けながら考えをまとめ、理解を深めようとしている。</p>
<p>読む カフェの開店準備 P193</p> <p>言葉の扉③ ……紛らわしい漢字 P200 3時間</p>	<p>[知技] (1)ア、イ、ウ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)ア、エ</p> <p>④ 読むこと(2)イ</p> <p>[知技] (1)イ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめ直す。 紛らわしい漢字について理解する。 	<p><第1時></p> <p>1 本文を通読して、話の進め方について気づいたことを発表する。(手引き1)</p> <p>2 具体例を挙げて説明している部分を指摘する。(論理の力)</p> <p>3 第一・二段に書かれている「喫茶店の開店準備」を巡っての筆者の考えを理解する。(手引き2-1)</p> <p><第2時></p> <p>1 楽器の演奏に関する考察について理解する。</p> <p>2 「現在」「過去」「未来」も含め」というものについての筆者の考えを理解し、そのことについて話し合う。(手引き2-2)</p> <p>3 「行為の習慣化」について、筆者の考えをもとにして考える。(手引き2-3)</p> <p><第3時></p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表

			<p>1 「痕跡の残らない行為」に対する筆者の考えを理解し、そのことについてどう思うかを話し合う。(手引き3)</p> <p>2 日常生活の在り方について考え、四百字程度の文章にまとめ、話し合う。(言語活動)</p> <p>3 「紛らわしい漢字」を通読し、識別の方法を理解した後、間違えやすい熟語や同音異義語の例についても併せて確認する。(言葉の扉⑤……紛らわしい漢字)</p>	<p>現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。</p> <p>[主] 粘り強く具体例を通して筆者の思考をたどることによってその考えを理解し、学習課題に沿って自分の経験を振り返って日常生活の在り方についてまとめ、話し合おうとしている。</p>
<p>書く 短い論文を書いて読み 合おう</p> <p>P203 11 時間</p>	<p>[知技] (1)エ／ (2)ア [思判表] 書く こと(1)ア、ウ、 カ ⑤ 書くこと(2) ウ</p>	<p>・文章を読んで問いを持ち、自分の意見を短い論文にまとめる。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。</p> <p>2 資料を読んで自分の考えを短い論文にまとめ、読み合った例を参考に、学習の進め方を理解する。</p> <p><第2～4時></p> <p>1 「課題」(P208)の中から話題の一つを選び、実際にその話題に関する論説文や関連資料を収集する。</p> <p>2 収集した資料を読み、自分の問題意識に根差しているかなど、論じる視点を考えて、適切な資料を選ぶ。</p> <p>3 資料から読み取ったことをもとに、自分の意見をまとめる。</p> <p><第5～8時></p> <p>1 資料に基づいてまとめた意見をもとに、「活動のポイント」2も参考にして、論文の構成や展開を考え、構成メモを作る。</p> <p>2 構成メモをもとに、八百字程度の短い論文を書く。</p> <p>3 文章の構成や論理の展開、表現において、自分の意見が的確に伝わるかなどの視点から、書いた文章を読み返し、推敲する。</p> <p><第9・10時></p> <p>1 グループに分かれ、書いた論文を発表し合う。聞き手</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 ・「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 <p>[主] 積極的に情報の収集や整理を行い、適切な資料を選んだうえで問いを持ち、今までの学習を生かして構成や展開を工夫して書いた論文を読み合い、交換した意見を踏まえて、よりよい論文に仕上げようとしている。</p>

			<p>はチェックシート (P208) などを用いて、論文に対する意見を記す。</p> <p>2 それぞれが書いた論文に対する意見を交換する。</p> <p><第11時></p> <p>1 交換した意見や、チェックシートの内容を踏まえ、自分の論文を読み返し、課題を捉え直したうえで、論文を書き直し、よりよいものに仕上げる。</p> <p>2 「振り返りのポイント」の各項目について振り返り、課題について各項目が達成できているかを確認する。</p> <p>* Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。</p>	る。
--	--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----

■ 2 学期

II 部 3 科学と人間 (9月)

<p>読む 鏡としてのアンドロイド</p> <p>P210 3時間</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)ア, ウ, カ</p> <p>④ 読むこと(2)ウ</p>	<p>・アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉える。</p>	<p><第1時></p> <p>1 取り上げられている話題に注意して、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 本文について、「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」を意識しながら質問を考える。(論理の力)</p> <p>3 「技術開発」にもたらす「新たな意味」とは何かを読み取る。</p> <p><第2時></p> <p>1 「それが自分の脳であることは論理的には理解できる」とは、どのようなことか、読み取る。(手引き2)</p> <p>2 「他人は、自分を映しだす鏡のようなものだ」とは、どのようなことか、読み取る。(手引き3)</p> <p>3 「乏しい表情」と「止まったアンドロイドのような完全な無表情」とは、どのように違うのか、違いをまとめる。(手引き4)</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。
-----------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

			<p>4 「私の研究は自虐的かもしれない。」とあるが、どのような点が「自虐的」だというのか、読み取る。(手引き5)</p> <p>5 「心は自分と他人を取り巻くさまざまな状況の中に分散している」とは、どのようなことか、読み取る。(手引き6)</p> <p>6 「人間についての根本的な疑問」と「創造的な活動」との関係を読み取る。</p> <p><第3時></p> <p>1 「何かを作り出す」ことについての筆者の考えを読み取る。</p> <p>2 筆者の考えを参考にしながら、「何かを作ること」とは、どのようなことであると考えられるか、話し合う。(言語活動)</p>	<p>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。</p> <p>[主] 進んで話題に注意して文章を読み、今までの学習を生かして筆者の研究を踏まえた人間に対する考えを理解したうえで、自分の意見を述べようとしている。</p>
<p>読む ロボットが隣人になる とき P 219</p> <p>言葉の扉④ ……的確に表現するために P 228 4 時間</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読むこと(1)ア, ウ, カ ④ 読むこと(2)ウ</p> <p>[知技] (1)ウ [思判表] 読むこと(1)ア</p>	<p>・ 哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで、人間の意志や自由について理解を深める。</p> <p>・ 的確な表現の仕方について理解する。</p>	<p><第1時></p> <p>1 「意志」「自由」という言葉の意味に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 「この問いは、単純な技術の問題ではない。」とあるが、なぜそういえるのかを読み取る。(手引き2)</p> <p>3 「近年のAIの発展はこのイメージを崩しつつある。」とは、どのようなことかを読み取る。(手引き3)</p> <p><第2時></p> <p>1 『意志』と『欲求』を比較してみよう。」とあるが、意志と欲求はどのように異なるのか読み取り、まとめる。(手引き4)</p> <p>2 『意志』というのは約束に似ている」(P223・3)と筆者が考えるのはなぜか、読み取る。</p> <p>3 「ロボットは社会的な存在になれるだろうか。」(P224・5)という問いに対する筆者の考えを読み取る。</p> <p><第3時></p>	<p>[知技]</p> <p>・ 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>・ 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。</p> <p>・ 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。</p> <p>・ 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と</p>

			<p>1 「そうはならないだろう。」とあるが、ここで述べられているようなロボットが「自分の意志で自由に行動する」といえないのはなぜか読み取り、まとめる。(手引き5)</p> <p>2 「対等の隣人」とあるが、どのような点で対等なのか、筆者の考えを読み取る。(手引き6)</p> <p>3 「的確に表現するために」を読み、自分の考えを相手に的確に伝えるための表現について理解する。(言葉の扉④……的確に表現するために)</p> <p><第4時></p> <p>1 本文の論証について、任意の部分を選んで反論を考え、まとめる。(論理の力)</p> <p>2 筆者が考えるような「自分の意志で自由に行動するロボット」が生まれることは望ましいと考えるかどうか、話し合う。(言語活動)</p>	<p>結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。</p> <p>[主] 積極的に筆者の哲学的な思考を、「自由意志を持ったロボットを作ることができる」ことが可能か否かを考えることを通して理解し、学習課題に沿って人間の意志や自由について考えを深め、意見を述べようとしている。</p>
--	--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

II部 4 豊かな認識 (10~12月)

<p>読む 言葉は「ものの名前」ではない P232 4時間</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読むこと(1)ア, ウ, カ ④ 読むこと(2)ウ</p>	<p>・言語と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考える。</p>	<p><第1時></p> <p>1 言葉と「もの」の関係に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 第一段を読んで、「ギリシャ以来の伝統的な言語観」がどのようなものなのかを理解する。(手引き2)</p> <p><第2時></p> <p>1 第二段第一節を読んで、「羊」や「devilfish『悪魔の魚』」の例をもとに、「ギリシャ以来の伝統的な言語観」の問題点を理解する。(手引き3)</p> <p>2 第二段第二節を読んで、具体例をもとに、言葉の「意味の幅」がどのように決まるのかを確認し、「もの」と言葉の関係を理解する。(手引き4・5)</p> <p><第3時></p> <p>1 ソシユールの言語観をまとめる。(手引き6)</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。
-----------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

			<p>2本文で、筆者は言語についてのどのような考えに反対しているのか、まとめる。(論理の力)</p> <p><第4時></p> <p>1日本語と英語の場合について、筆者の考えを表す具体例を、本文以外の例で考え、話し合う。(言語活動)</p>	<p>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。</p> <p>[主] 粘り強く具体例をもとに言語と認識の関係についての筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って言葉の働きについて考えをまとめ、話し合おうとしている。</p>
<p>読む</p> <p>科学的「発見」とは</p> <p>P240</p> <p>3時間</p>	<p>[知技] (1)ア、イ、ウ</p> <p>[思判表] 読むこと(1)イ、カ</p>	<p>・本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。</p>	<p><第1時></p> <p>1「図1」と「図3」が何に見えるかを考えながら本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2「事実を観察するということは、それほど単純ではない。」という筆者の考えを理解する。</p> <p>3第一段の「事実を観察するということは、それほど単純ではない。」という考えの根拠を、第二段から理解する。(手引き2)</p> <p><第2時></p> <p>1第三段から、「信じられないという表情から驚きの表情に変わってくる」理由を理解する。(手引き3)</p> <p>2『見ることは解釈することだ。』の意味するところを理解する。(手引き4)</p> <p><第3時></p> <p>1「要約する力」(P158~161)を参考にしながら、本文の中心的な「問い」と「主張」をまとめる。(論理の力)</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</p> <p>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。</p> <p>[主] 進んで中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、学習課題に沿って科学的視点に立った、もの見方や考え方を理解しようとしている。</p>
<p>書く</p> <p>◆図表の読み取り方</p> <p>P249</p>	<p>[知技] (2)イ</p> <p>[思判表] 書くこと(1)ア</p>	<p>・図表の読み方を理解し、情報を適切に読み取れるようにする。</p>	<p><第1時></p> <p>1「図表の読み取り方」の①②を読み、現象を把握する具体的方法を理解する。出典の確認ポイント・図表が「何を」「どのように」表しているかの読み取りポイントを「練習」(P250)の課題に取り組みながら理解</p>	<p>[知技]</p> <p>・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係につ</p>

<p>資料を活用して論述しよう</p> <p>P 253 14 時間</p>	<p>[知技] (1)エ／ (2)ア, イ</p> <p>[思判表] 書くこと(1)ア, イ, オ</p> <p>④書くこと(2) エ</p>	<p>・資料を集めて論題を設定し, 意見を整理して論述する。</p>	<p>する。(図表の読み取り方)</p> <p>2 「図表の読み取り方」の③を読み, 複数の図表を関連づけて分析する具体的方法を理解する。「練習」(P 252) と, 「応用」(P 252) の課題に取り組んで, 複数の図表を考察・分析するポイントを理解する。(図表の読み取り方)</p> <p><第 2～6 時></p> <p>1 「学習の流れ」を読み, 論述活動についての見通しを持つ。</p> <p>2 「活動のポイント」1 を読み, P 256 上段の図を参考に, 論題設定の方法を理解する。</p> <p>3 「課題」(P260) を踏まえ, 「SDGs」の 17 項目 (P 254・255) と身近な話題や具体例, 自分の興味・関心に関連させ, 開発目標から各自が一つを選んでテーマを決定する。</p> <p>4 テーマに沿った資料を収集し, 観点を決めて整理する。「情報整理のポイント」(P 47) や「論点整理表」(P 53) を活用して資料を視覚化したり, 思考ツール・発想の方法 (P 310・311) を使ったりして考察を行うとよい。</p> <p>5 資料の考察から「問い」のかたちで論題の候補を箇条書きにする。その中から自分の意見をまとめられそうなものを焦点化していく。</p> <p>6 四～六人のグループに分かれて, 各自の考察や論題を持ち寄り, 意見交換を行い論題の再検討を行う。資料の偏りや不足に気づいた場合は, 随時資料収集を行い, 再度考察を行う。</p> <p><第 7～9 時></p> <p>1 「活動のポイント」2 を読み, 意見整理の方法を理解する。</p> <p>2 「意見整理の例」(P 258) を参考に, 考察内容や自分</p>	<p>いて理解を深めている。</p> <p>・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。</p> <p>[思判表]</p> <p>・「書くこと」において, 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について, 書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集, 整理して, 目的や意図に応じた適切な題材を決めている。</p> <p>・「書くこと」において, 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら, 自分の立場や論点を明確にして, 主張を支える適切な根拠をそろえている。</p> <p>・「書くこと」において, 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど, 文章全体の論理の明晰さを確かめ, 自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。</p> <p>[主] 粘り強くテーマに沿った資料を収集・整理して論題を設定し, 学習の見通しをもって資料の価値づけを行い, 自分の意見を明確にして論述しようとしている。</p>
--------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

			<p>の意見,資料の価値づけを,枠組みに沿って整理する。 論述の必要に応じて,図表の作成も行う。</p> <p><第10~13時></p> <p>1「活動のポイント」3と「論文・レポートの種類と構成／小論文の構成」(P322)を読み,小論文の基本的な構成について理解する。</p> <p>2「意見整理の枠組み」(P258)と「小論文の構成例」(P259)を照合し,関連性を理解する。</p> <p>3自分の作成した意見整理の枠組みをもとに,「小論文の構成例」に沿って小論文を書く。</p> <p><第14時></p> <p>1書き終えた小論文を読み直したり,グループに分かれて小論文を読み合ったりして,推敲や修正を行う。</p> <p>2「振り返りのポイント」の各項目について振り返り,確認する。</p> <p>*Dこの教材には,関連するデジタルコンテンツが用意されているので,適宜利用するとよい。</p>	
■ 3 学期				
II部 5 知のゆくえ(1~2月)				
<p>読む 知識における作者性と 構造的性</p> <p>P262 4時間</p>	<p>[知技] (1)ア, イ,ウ [思判表] 読む こと(1)ア,ウ, カ (活) 読むこと(2) ウ</p>	<p>・インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み,情報と知識について理解を深める。</p>	<p><第1時></p> <p>1「ネット情報」と「本」の違いに注意して,本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2本文について,「情報の問い」「意味の問い」「論証の問い」を意識しながら質問を考える。(論理の力)</p> <p>3「ネット情報」と「図書館に収蔵されている本」について,筆者の言う「作者性」における違いをまとめる。</p> <p><第2時></p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には,言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し,文章の中で使うことを通して,語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 <p>[思判表]</p>

			<p>1 『『情報』と『知識』の決定的な違い』について、筆者はどのように述べているか、読み取る。(手引き2)</p> <p>2 「リンゴが実っている木の幹を見定めたり、そこから出ているいくつもの枝の関係を見極めたりすることができなくなってしまう」とは、どのようなことか、理解する。(手引き3)</p> <p>3 「自力で自分がどんな森を歩いているのかを知る能力」とはどのような能力か、比喩が表しているものを理解し、読み取る。</p> <p><第3時></p> <p>1 「論理の創造的展開」とは、どのようなことか、読み取る。(手引き4)</p> <p>2 「ネット検索」が「読書」より優れている点として筆者が挙げているものは何か、指摘する。</p> <p>3 「本」を読むことは、どのような点で「ネット検索」より優れていると筆者は考えているかを読み取り、まとめる。(手引き5)</p> <p><第4時></p> <p>1 インターネット上の情報を、他の情報や知識との関係性の中で捉え直すためにはどうすればよいか、具体的な方法を話し合う。(言語活動)</p>	<p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握している。</p> <p>・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。</p> <p>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。</p> <p>[主] 粘り強く筆者の述べる「ネット情報」と「本」の違いを読み取り、学習課題に沿って「情報」と「知識」について理解を深めたうえで、自身のインターネット上の情報の扱い方を振り返り、適切なネット情報の捉え方について話し合おうとしている。</p>
<p>読む もう一つの知性 P271 ブックガイド②</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読むこと(1)ア, ウ, カ ㊦ 読むこと(2)イ [知技] (3)ア</p>	<p>・科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し、現代社会を生きるうえで必要な態度について考える。</p> <p>・読書を通じて現代</p>	<p><第1時></p> <p>1 「情報化社会」とはどのような社会を言うのか。また、情報化社会で重要なことは何か、意見を述べ合う。</p> <p>2 各段に述べられている「知の在り方」に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>3 第一段P272・5行目までを音読し、表現に即して内容を読み取る。</p> <p>4 第一段の後半部分を音読し、例として挙げられている事項・用語を「情報通」と「知性」の二つのグループ</p>	<p>[知技]</p> <p>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</p> <p>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について</p>

<p>……現代を生きるために P280 4時間</p>	<p>【思判表】読むこと(1)キ</p>	<p>に対するさまざまな見方を知り、視野を広げる。</p>	<p>に分類する。(手引き2)</p> <p>5 「この小学生がお父さんより知的な人間とはいえない」といえる根拠として、本文で述べられていることをまとめる。(論理の力)</p> <p>6 「血肉になっているような情報」「服のポケットにたくさん紙片を詰め込んでいるような知性」などの比喩表現を理解する。</p> <p><第2時></p> <p>1 第二段を読み、冒頭部分を中心に、筆者が考える本来の「知性」の在り方をまとめる。</p> <p>2 アメリカの先住民や医療現場の話を題材に、科学技術の発達とともに知性がどう変化したか、またトルストイの人生論の話は、どのようなことを説明する目的で紹介されているのかを考えてまとめる。(手引き3)</p> <p><第3時></p> <p>1 第三段を読み、冒頭の一文の役割を確認するとともに、P276・1行目までを読み、「ブリコラージュ」的な知とはどのような知の在り方を言うのか、読み取る。(手引き4)</p> <p>2 後半部分を読み、本教材における筆者の主張を理解する。(手引き5)</p> <p>3 筆者の提案する『『ブリコラージュ』的な知の可能性』を、自分たちの生活にどう生かせるか、話し合う。(言語活動1)</p> <p><第4時></p> <p>1 本文に述べられている筆者の意見についてどのように考えるか、六百字程度の文章にまとめ、互いに読み合う。(言語活動2)</p> <p>2 現代社会に関するさまざまな話題を取り上げた本を読み、現代を生きるために必要な視点について捉える。(ブックガイド②……現代を生きるために)</p>	<p>て理解を深めている。</p> <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握している。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 <p>【主】積極的に論拠をたどることで筆者の述べる本来の「知性」の在り方を理解し、今までの学習を生かして自分たちが現代社会を生きるうえで筆者の提案をどのように結び付けることができるか、話し合おうとしている。</p>
-------------------------------------	-----------------------------	-------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

II部 6 明日をみつめて (2~3月)

<p>読む ホンモノのおカネの作り方 P282 4時間</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読むこと(1)ア, エ, オ ㊦ 読むこと(2) オ</p>	<p>・二つの例の対比に注意して論旨をたどり, 貨幣の持つ不思議さについて理解を深める。</p>	<p><第1時> 1 貨幣の本質, 電子マネーの仕組み, 円安・円高など, 経済や貨幣に関する話題を適宜取り上げ, 互いの知識や考えを発表し合う。 2 本文を通読して, 取り上げられている話題と構成上の特色を確認する。(手引き1) 3 第一段の内容を確認し, 文章全体との関係や構成の型, その効果について理解する。 4 第二段の内容を把握し, 佐土原藩の偽造法の説明が持つ意味を確認し, ニセガネの本質を叙述に即して理解する。</p> <p><第2時> 1 預かり手形の仕組みと便利さを確認し, 「ホンモノの代わり」がホンモノに代わる過程を理解する。(手引き2) 2 語義の確認を含めてここで言う「逆説」の内容とそれが発生する理由を理解する。</p> <p><第3時> 1 「金銀」「金銀の塊」「金貨銀貨」「銀行券」などの語句に注意しながら, 整理する。 2 「その時々のおカネ」「ホンモノの形而上学」などの語句に注意して, 筆者の結論の妥当性を確認し, 更にその結論を通して, 筆者は何を言おうとしているのかを考える。(手引き3・4) 3 「ホンモノのおカネ」を作るのに必要な条件を確認する。 4 文章の構成・展開の巧みさを確認する。 5 要約するための五つのステップを意識して, 本文の「3」の内容を二百字程度で要約する。(論理の力)</p>	<p>[知技] ・言葉には, 言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し, 文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>[思判表] ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などを的確に捉え, 論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において, 文章の構成や論理の展開, 表現の仕方について, 書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において, 関連する文章や資料を基に, 書き手の立場や目的を考えながら, 内容の解釈を深めている。</p> <p>[主] 進んで筆者の示す問題提起と結論を具体例から読み取り, 学習課題に沿って抽象的な「貨幣」というものの本質について, 経済の仕組みとともに理解を深め, 話し合おうとしている。</p>
---------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

			<p><第4時></p> <p>1 貨幣の本質についての理解を深めるとともに、話し合い等を通じて認識を広げ、常識と思われることを掘り下げて考える態度を養う。(手引き5)</p> <p>2 経済の仕組みについて他教科で学習したことを整理してまとめ、本文の内容との関連について話し合う。(言語活動)</p>	
<p>読む 未来のありか P 291</p> <p>考える楽しみ③ ……困難な時代に P 308 4 時間</p>	<p>[知技] (1)ア, イ, ウ [思判表] 読むこと(1)ア, エ, キ</p> <p>[知技] (1)ア [思判表] 読むこと(1)ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小見出しを参考にして各部分の内容と関係を読み取り、未来とは何かについて考える。 ・困難な時代における読書の役割について理解する。 	<p><第1時></p> <p>1 「未来の事物」「未来の時間」について考えたことを、具体的に挙げる。</p> <p>2 四つの意味段落の小見出しと述べられている内容の関連を押さえながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>3 未来の事物の予想や予期や想像が個々の意識の中に生まれ、社会生活の中で共有されていく過程について読み取り、まとめる。(手引き2)</p> <p><第2時></p> <p>1 「未来」が事前に想像されるものであることを、万国博の例をもとに読み取る。(手引き3)</p> <p>2 「未来らしさを支えるもの」について、論の展開と構成を踏まえて、箇条書きにまとめる。(手引き4)</p> <p><第3時></p> <p>1 要約するための五つのステップを意識して、本文の内容を二百字程度で要約する。(論理の力)</p> <p>2 「未来のありか」についての筆者の考えを、私たちの生き方と関連づけてまとめる。</p> <p><第4時></p> <p>1 本文の内容を踏まえて、「未来」について考えたことを話し合う。(手引き5)</p> <p>2 「困難な時代に」を通読し、複雑で解決困難な問題を抱える現代の世界に生きるうえで、読書が果たす役割</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 <p>[主] 粘り強く筆者の示す具体例や資料から論旨をたどり、学習課題に沿って「未来」についての筆者の主張を踏まえたうえで、自分の考える「未来」について話し合い、自分自身の生き方についても考えを深めようとしている。</p>

			を読み取り, 自分自身の生き方について考えをまとめる。(考える楽しみ⑥……困難な時代に)	
読む やさしい日本語 P 302 2時間	[知技] (1)ア, ウ / (2)イ [思判表] 読む こと(1)ア, エ ㊦ 読むこと(2) ア	・資料を読んで「やさしい日本語」について理解し, 実用的な文章の分かりやすさについて考える。	<p><第1時></p> <p>1 本文を通読し, 「やさしい日本語」の目的と内容を確認する。</p> <p>2 「日本人に分かりやすい文章」と「外国人にも分かりやすい文章」について, それぞれがどのような場面で必要と考えられるか, 具体的に挙げて話し合う。</p> <p><第2時></p> <p>1 「問題」1・2を読み, 「やさしい日本語ガイドライン」に基づいて, 分かりやすい点と改善すべき点について指摘し, 話し合う。</p> <p>2 自分が日常的に書いている文章について, 分かりやすいものとなっているかどうかを振り返り, 気をつけるべき点についてまとめ, 話し合う。</p>	<p>[知技]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には, 言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 <p>[思判表]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 内容や構成, 論理の展開などを的確に捉え, 論点を明確にしながら要旨を把握している。 ・「読むこと」において, 文章の構成や論理の展開, 表現の仕方について, 書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 <p>[主] 積極的に「やさしい日本語」の必要性やポイントを理解し, 今までの学習を生かして「問題」に取り組んだり, 自身の表現の仕方について振り返ったりして, 文章の分かりやすさについての意識を高めようとしている。</p>